

【20代意識調査】「週休3日制」は、「給与が維持されるなら利用したい」の回答が69.4%。

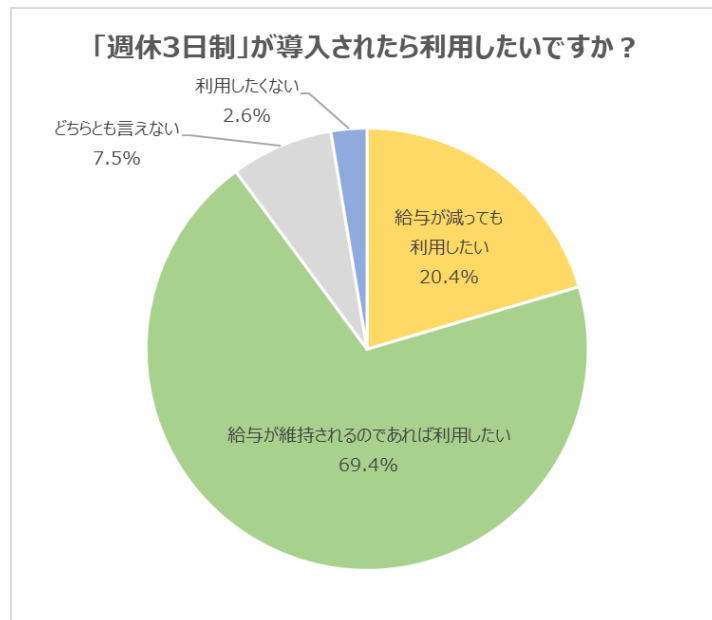
「週休3日制」が導入されたら取り組みたいこと2位は「資格の勉強」、1位は…？

株式会社学情は、20代の仕事観や転職意識をひも解くために、アンケート調査を実施しました。今回は、「週休3日制」に関して調査。「週休3日制」の利用については、「給与が維持されるなら利用したい」が69.4%で最多。「給与が減っても利用したい」の回答が20.4%で続き、89.8%は「週休3日制」の利用に前向きであることが分かります。「効率的に働くことができそう」「ライフステージに変化があっても、働き続けることができそう」「副業や資格の勉強などに時間を使えそう」などの声が挙がりました。一方、「給与や賞与カットにつながるのであれば利用したくない」「20代は、仕事を覚えたり、スキルを習得する期間だと思う。将来的には利用を検討したいものの、今は積極的に利用しようとは思わない」といった声も寄せられています。「週休3日制」が導入されたら取り組みたいこと1位は、「趣味など自分の時間の確保」66.0%、2位は「資格取得やスキルアップのための勉強」が58.1%となりました。

【TOPICS】

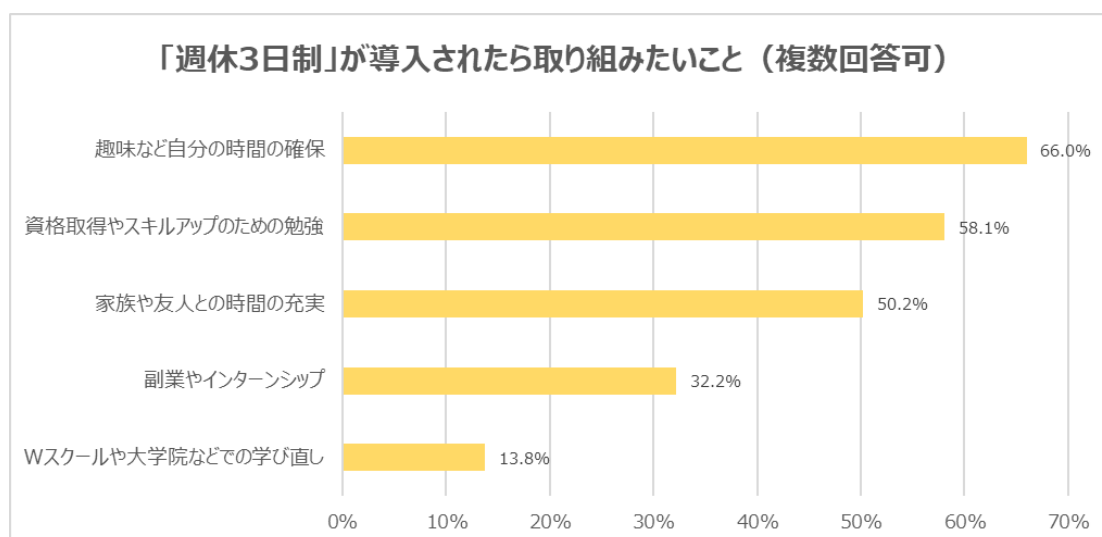
- (1) 「週休3日制」は「給与が維持されるのであれば利用したい」の回答が69.4%で最多
- (2) 「週休3日制」が導入されたら取り組みたいこと1位は「自分の時間の確保」、2位は「スキルアップのための勉強」
- (3) 「週休3日制」を導入している企業に持つイメージは「柔軟な働き方ができそう」が60.7%で最多

(1) 「週休3日制」は「給与が維持されるのであれば利用したい」の回答が69.4%で最多



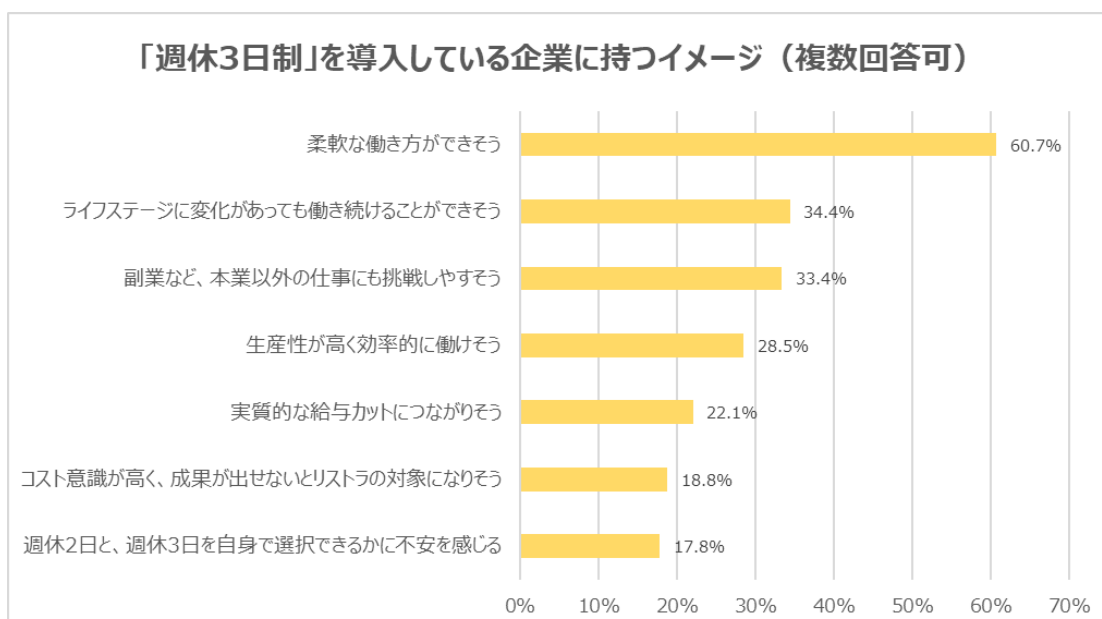
「週休3日制」の利用については、「給与が維持されるなら利用したい」が69.4%で最多。「給与が減っても利用したい」の回答が20.4%で続き、89.8%は「週休3日制」の利用に前向きであることが分かります。「利用したい」とした20代からは、「リフレッシュする時間を確保できれば、より効率的に働くことができそう」「ライフステージに変化があっても、働き続けることができそう」「副業や資格の勉強などに時間を使えそう」などの声が挙がりました。一方、「給与や賞与カットにつながるのであれば利用したくない」「20代は、仕事を覚えたり、スキルを習得する期間だと思う。将来的には利用を検討したいものの、今は積極的に利用しようとは思わない」といった声も寄せられています。

(2) 「週休3日制」が導入されたら取り組みたいこと 1位は「自分の時間の確保」、2位は「スキルアップのための勉強」



「週休3日制」が導入されたら取り組みたいこと1位は、「趣味など自分の時間の確保」が66.0%。次いで2位は、「資格取得やスキルアップのための勉強」58.1%が続きます。テレワークの実施により、注目が高まっている「副業やインターンシップ」に取り組みたいという回答は、32.2%でした。

(3) 「週休3日制」を導入している企業に持つイメージは「柔軟な働き方ができそう」が60.7%で最多



「週休3日制」を導入している企業に持つイメージは、「柔軟な働き方ができそう」が60.7%で最多。次いで、「ライフステージに変化があっても働き続けることができそう」34.4%、「副業など、本業以外の仕事にも挑戦しやすそう」33.4%と続きました。好意的なイメージの回答が上位を占めた一方、「給与カットにならないか不安」「休みを増やせば、生産性が上がるわけではないと思う。生産性を高める取り組みとセットで検討するべきだと思う」という指摘もありました。

■調査概要

- ・調査対象：[20代専門]転職サイト「Re就活」へのサイト来訪者
- ・調査方法：「Re就活」にアクセスしたサイト来訪者に、アンケートのポップアップを表示
- ・調査期間：2021年3月25日～2021年4月2日
- ・有効回答数：494名